

海外現地法人の動向（要旨）

海外現地法人四半期調査（平成20年1-3月期）

平成20年6月26日
調査統計部企業統計室

～ H20/1-3の実績、H20/4-6の現状判断DI、H20/7-9の先行きDI ～
<今回調査のポイント>

売上高

○先行きDI(H20年7-9月期)は、プラス幅を拡大。北米は、2期連続1桁台。

現状判断DI(H20年4-6月期)は、アジア地域を中心に、プラス幅を拡大。

先行きDIは、電気機械のプラス幅拡大などによりプラス幅を拡大し、すべての業種及びすべての地域でプラスを維持。北米は、2期連続1桁台のプラス。

○実績(H20年1-3月期)は、前年同期比14.3%増と、4期連続2桁台の増加。

業種別では、すべての主要業種は、2桁台の増加。

地域別では、北米を除く地域は、2桁台の増加。欧州は、6期連続2桁台の増加となり、アジア地域は、5期連続2桁台の増加。北米は、電気機械及び輸送機械を中心に伸び率を縮小し、11期連続1桁台の増加。

設備投資

○先行きDI(H20年7-9月期)は、プラス幅を縮小。

現状判断DI(H20年4-6月期)は、アジア地域のプラス幅拡大などから、プラス幅を拡大。

先行きDIは、すべての業種及びすべての地域でプラスを維持したが、アジア地域及び北米のプラス幅縮小からプラス幅を縮小。

○実績(H20年1-3月期)は、前年同期比19.1%増と、4期ぶりに増加。

業種別では、電気機械は、中国の増加などから大幅な増加に転じ、輸送機械は、5期ぶりに2桁台の増加に転じた。

地域別では、アジア地域は、NIEs3を除く地域の大幅な増加から、大幅に増加。欧州は、4期ぶりに大幅な増加に転じ、北米は、5期連続増加。

従業者数

○先行きDI(H20年9月末)は、プラス幅横ばい。

現状判断DI(H20年6月末)は、プラス幅を拡大。先行きDIは、プラス幅横ばい。すべての業種でプラスを維持し、輸送機械及びアジア地域は2桁台を維持。

○実績(H20年3月末)は、前年同期比3.5%増と、引き続き増加。

業種別では輸送機械を中心として、地域別では中国を中心として、引き続き増加。

調査時点：平成20年5月中旬

1. 売上高

**先行きDI(*1)は、23.3%ポイントと、プラス幅拡大。北米は、2期連続1桁台。実績は、前年同
期比 14.3%増と、4期連続2桁台の増加。**

○ **現状判断D I (H20年4-6月)**は、20.7%ポイントと、前期現状判断D I (H20年1-3月)に
比べ11.3%ポイントプラス幅を拡大し、2桁台のプラスとなった。

業種別では、すべての業種で2桁台のプラス。

地域別では、北米を除く地域で、2桁台のプラス。アジア地域は、大幅にプラス幅を拡大。

先行きD I (H20年7-9月)は、23.3%ポイントと、今期現状判断D Iに比べ2.6%ポイント
プラス幅を拡大。

業種別では、電気機械を除く主要業種は、プラス幅を縮小したが、すべての主要業種で2桁
台のプラスを維持。

地域別では、すべての地域でプラスを維持。アジア地域は、電気機械を中心に、プラス幅を
拡大。中国(*2)、ASEAN4(*3)、NIEs3(*4)とも2桁台のプラスを維持。北米は、プラス幅を拡大
したが1桁台のプラスにとどまり、輸送機械は2期連続マイナスとなった。欧州は、2期連続
プラス幅を縮小し、1桁台のプラス。

○ **実績(H20年1-3月)**は、前年同期比14.3%増と、4期連続2桁台の増加。

業種別では、すべての主要業種は、2桁台の増加。

一般機械、輸送機械、化学及び電気機械は、アジア地域及び欧州の増加を中心に引き続き2
桁台の増加となった。鉄鋼は、3期ぶりに増加に転じた。

地域別では、北米を除く地域は、2桁台の増加。

欧州(前年同期比22.2%増)は、6期連続2桁台の増加。すべての主要業種が2桁台の増加を
維持。**アジア地域**(同20.8%増)は、中国、ASEAN4、NIEs3とも2桁台の増加を維持し、5期連
続2桁台の増加。**中国**(同27.4%増)は、5期連続大幅な増加。輸送機械は著しい増加となり、
その他の主要業種も2桁台の増加。**ASEAN4**(同16.4%増)は、5期連続2桁台の増加。輸送機械
及び一般機械は大幅に増加し、化学及び鉄鋼も2桁台の増加。**NIEs3**(同14.2%増)は、2期連
続2桁台の増加。輸送機械が大幅に伸び率を拡大し、一般機械及び化学が大幅に増加。**北米**(同
2.5%増)は、伸び率を縮小し、11期連続1桁台の増加。一般機械及び鉄鋼は増加に転じたが、
電気機械及び主力の輸送機械が伸び率を縮小。

注 *1：調査時点を含む四半期（現状判断）及びその翌四半期（先行き）に関し、それぞれ前四半期と比較した見直し

・DI＝「増加と回答した企業の割合」－「減少と回答した企業の割合」

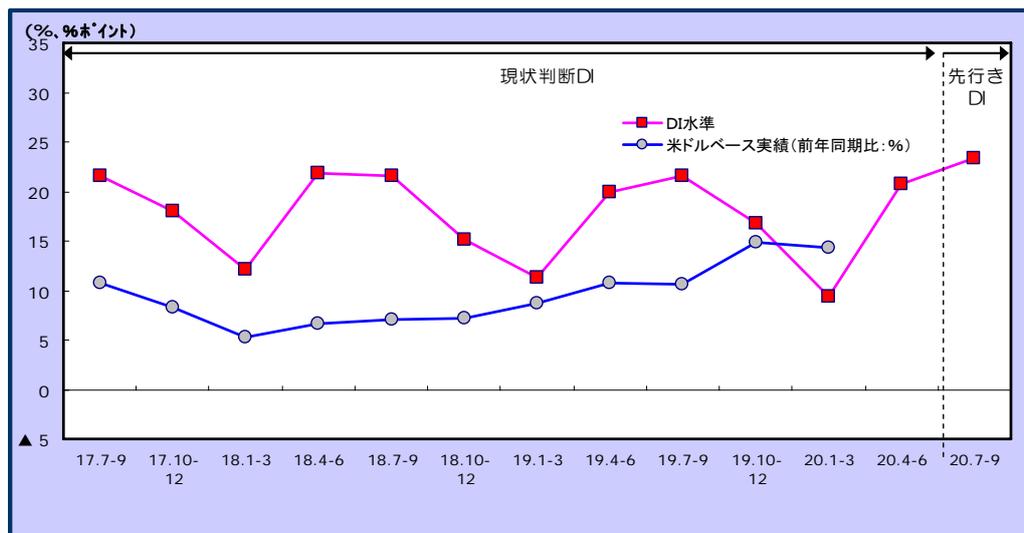
*2～4 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア NIEs3：シンガポール、台湾、大韓民国 中国：香港を含む

1表 売上高のD I及び実績（ドルベース）（地域・主要業種別）

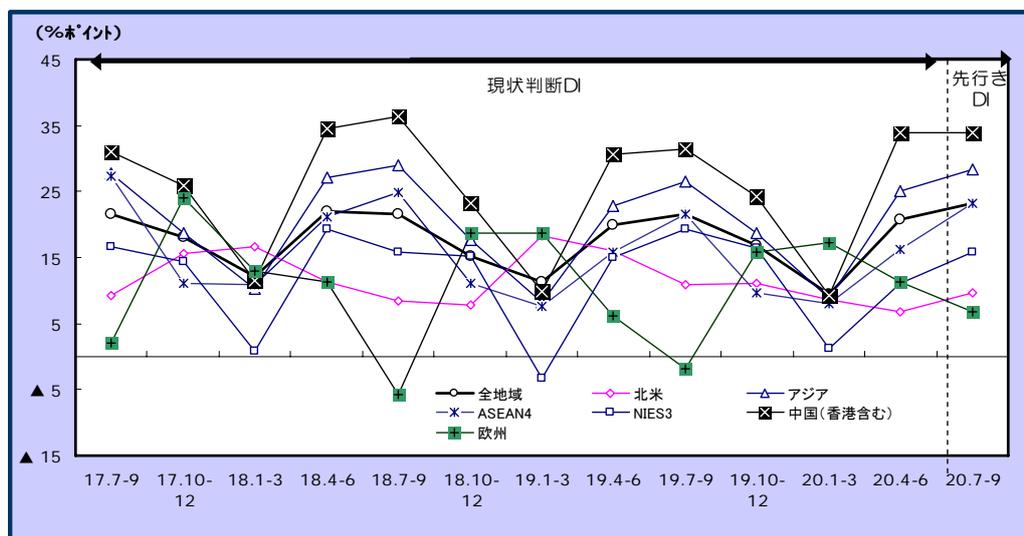
(単位：DI及びDI前期比→%ポイント、実績(前年同期比)→%)

	DI					実績 (前年同期比)			DI					実績 (前年同期比)			
	前期調査		今期調査			前期比	前期 (19.10-12)		今期 (20.1-3)	前期調査		今期調査			前期比	前期 (19.10-12)	今期 (20.1-3)
	①現状判断 (20.1-3)	②現状判断 (20.4-6)	③先行き (20.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)					①現状判断 (20.1-3)	②現状判断 (20.4-6)	③先行き (20.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)			
計(地域・業種)	9.4	→ 20.7	→ 23.3	(11.3)	2.6	14.8	14.3	輸送機械	22.2	→ 17.8	→ 16.9	(▲4.4)	▲0.9	16.6	15.1		
北米	8.6	→ 6.7	→ 9.7	(▲1.9)	3.0	4.3	2.5	電気機械	▲1.5	→ 14.0	→ 24.5	(15.5)	10.5	10.4	10.0		
アジア	8.9	→ 25.0	→ 28.3	(16.1)	3.3	18.8	20.8	一般機械	14.7	→ 16.5	→ 16.2	(1.8)	▲0.3	10.3	18.6		
ASEAN4	8.1	→ 16.3	→ 23.2	(8.2)	6.9	17.1	16.4	化学	17.4	→ 29.8	→ 27.9	(12.4)	▲1.9	14.4	12.4		
NIEs3	1.3	→ 11.0	→ 15.9	(9.7)	4.9	11.1	14.2	鉄鋼	5.4	→ 49.3	→ 40.6	(43.9)	▲8.7	▲0.9	10.6		
中国(香港含む)	9.2	→ 34.0	→ 33.9	(24.8)	▲0.1	22.3	27.4										
欧州	17.3	→ 11.3	→ 6.7	(▲6.0)	▲4.6	23.9	22.2										

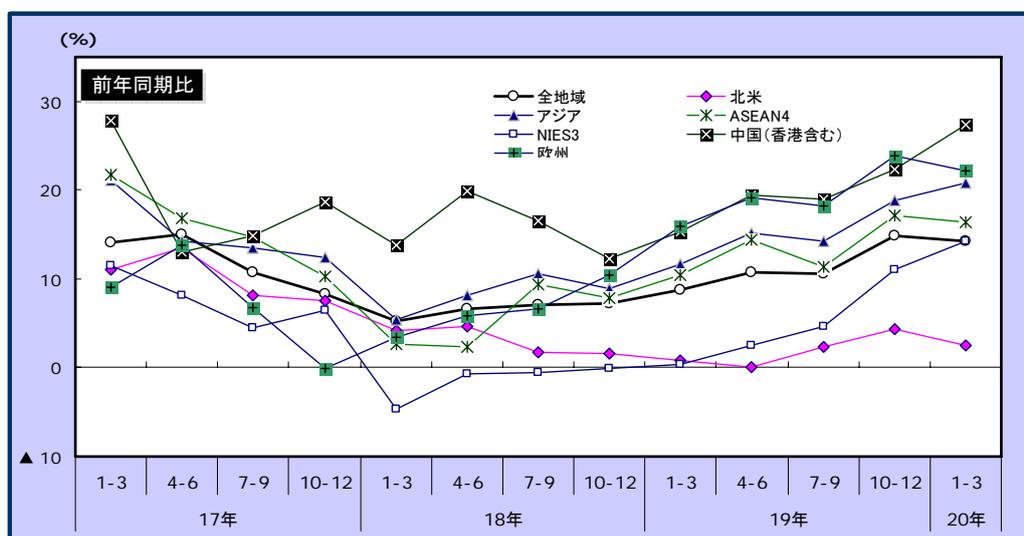
1図 売上高のDIと実績（ドルベース）の推移



2図 売上高DIの推移（地域別）



3図 売上高実績（ドルベース）の推移（地域別）



2. 設備投資額(土地を除く有形固定資産取得額)

先行きDIは、14.4%ポイントと、プラス幅縮小。実績は、前年同期比 19.1%増と、4期ぶりに増加。

- **現状判断DI (H20年4-6月)**は、17.6%ポイントと、前期現状判断DI (H20年1-3月)に比べ4.3%ポイントプラス幅を拡大。

業種別では、すべての業種で2桁台のプラス。

地域別では、アジア地域は、プラス幅を拡大し、引き続き2桁台となったが、北米及び欧州は、わずかにプラス幅を縮小し、1桁台のプラスとなった。

先行きDI (H20年7-9月)は、14.4%ポイントと、今期現状判断DIに比べ▲3.2%ポイントプラス幅を縮小。

業種別では、化学を中心に鉄鋼を除く主要業種がプラス幅を縮小したが、すべての業種でプラスを維持。

地域別では、すべての地域でプラスを維持し、北米及び欧州を除く地域では2桁台のプラス。アジア地域は、中国がすべての主要業種でプラス幅を縮小したことなどから、プラス幅縮小。北米は、輸送機械がマイナスに転じたことなどから、プラス幅縮小。欧州は、輸送機械がプラス幅を拡大し、電気機械がプラスに転じたことなどから、プラス幅拡大。

- **実績(H20年1-3月)**は、前年同期比19.1%増と、4期ぶりに増加した。

業種別では、輸送機械及び電気機械が、2桁台の増加に転じた。

電気機械は、中国の著しい増加などから、大幅な増加に転じた。鉄鋼は、3期連続大幅な増加。輸送機械は、その他アジア、ASEAN4及び北米の大幅な増加から、5期ぶりに増加。一般機械は、7期ぶりに減少に転じ、化学は、4期連続大幅な減少。

地域別では、アジア地域及び欧州は、大幅な増加に転じ、北米は、5期連続増加し、伸び率を拡大。

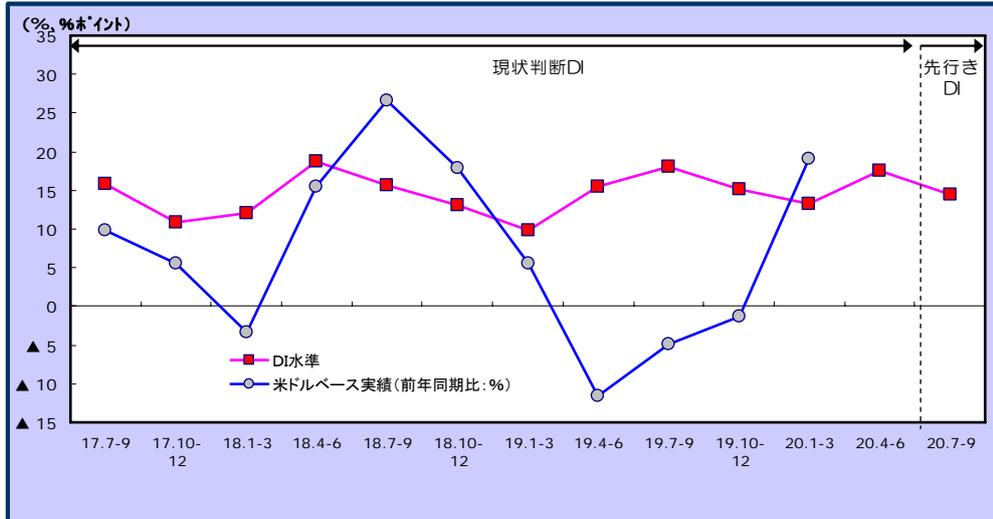
アジア地域(前年同期比 23.6%増)は、NIEs3を除く地域の大幅な増加から、大幅な増加に転じた。**中国**(同 27.2%増)は、電気機械の著しい増加などから、4期ぶりに大幅な増加に転じた。**ASEAN4**(同 24.2%増)は、輸送機械の著しい増加などから、大幅に伸び率を拡大。**NIEs3**(同 ▲27.3%減)は、すべての主要業種が減少を続け、4期連続大幅な減少。**欧州**(同 20.0%増)は、窯業・土石の著しい増加に加え、電気機械の増加及び輸送機械の減少幅の縮小などから、4期ぶりに大幅な増加に転じた。**北米**(同 19.3%増)は、5期連続増加し、伸び率を大幅に拡大。輸送機械が大幅に伸び率を拡大したが、化学は4期連続大幅に減少。

2表 設備投資額のDI及び実績(ドルベース)(地域・主要業種別)

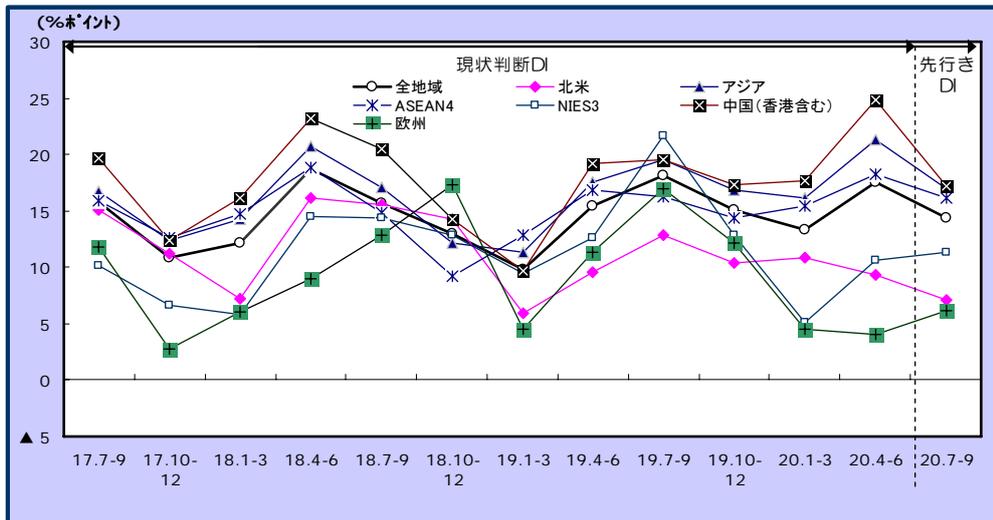
(単位: DI及びDI前期比→%ポイント、実績(前年同期比)→%)

	DI					実績 (前年同期比)			DI					実績 (前年同期比)			
	前期調査		今期調査			前期比			前期 (19.10-12)	今期 (20.1-3)	前期調査		前期比			前期 (19.10-12)	今期 (20.1-3)
	①現状判断 (20.1-3)	②現状判断 (20.4-6)	③先行き (20.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)	①現状判断 (20.1-3)	②現状判断 (20.4-6)				③先行き (20.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)				
計(地域・業種)	13.3	→ 17.6	→ 14.4	(4.3)	▲ 3.2	▲ 1.3	19.1	輸送機械	18.6	→ 19.5	→ 14.4	(0.9)	▲ 5.1	▲ 6.3	14.7		
北米	10.9	→ 9.3	→ 7.1	(▲ 1.6)	▲ 2.2	4.8	19.3	電気機械	9.7	→ 13.3	→ 10.8	(3.6)	▲ 2.5	▲ 4.6	20.6		
アジア	16.1	→ 21.3	→ 17.0	(5.2)	▲ 4.3	▲ 3.5	23.6	一般機械	13.7	→ 17.6	→ 15.4	(3.9)	▲ 2.2	15.7	▲ 1.4		
ASEAN4	15.4	→ 18.2	→ 16.1	(2.8)	▲ 2.1	6.5	24.2	化学	10.0	→ 19.6	→ 9.7	(9.6)	▲ 9.9	▲ 30.3	▲ 19.8		
NIEs3	5.1	→ 10.6	→ 11.3	(5.5)	0.7	▲ 24.0	▲ 27.3	鉄鋼	21.6	→ 24.2	→ 30.5	(2.6)	6.3	16.0	17.2		
中国(香港含む)	17.7	→ 24.8	→ 17.2	(7.1)	▲ 7.6	▲ 0.6	27.2										
欧州	4.5	→ 4.0	→ 6.2	(▲ 0.5)	2.2	▲ 2.2	20.0										

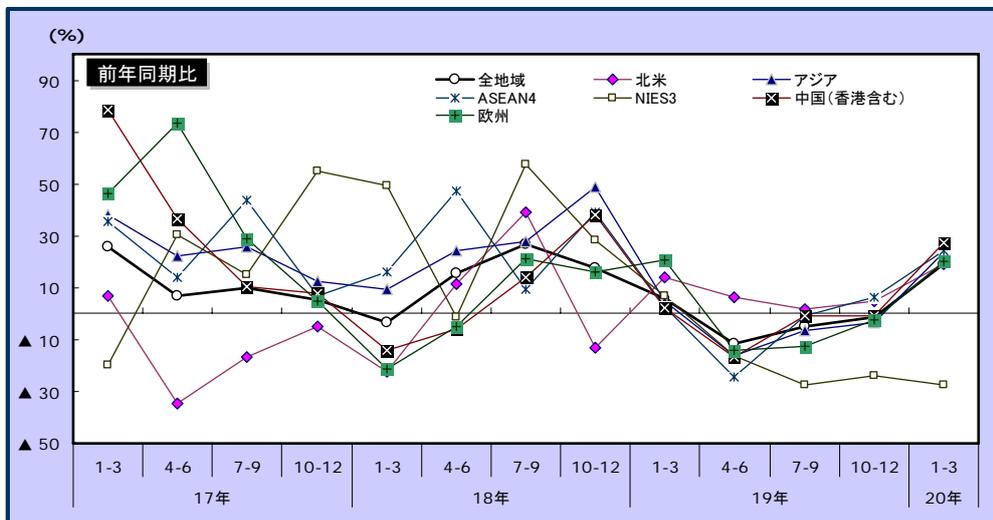
4 図 設備投資のD I と実績（ドルベース）の推移



5 図 設備投資D I の推移（地域別）



6 図 設備投資額実績（ドルベース）の推移（地域別）



3. 雇用(従業者数)

先行きDIは、10.5%ポイントと、プラス幅横ばい。実績は、前年同期比 3.5%増と、引き続き増加。

- **現状判断DI** (H20年6月末)は、10.5%ポイントと、前期現状判断DI (H20年3月末)に比べ0.7%ポイントプラス幅を拡大。すべての業種及びすべての地域でプラスを維持。

先行きDI (H20年9月末)は、10.5%ポイントと、今期現状判断DIに比べプラス幅横ばい。

業種別では、すべての業種でプラスを維持。輸送機械は引き続き2桁台。

地域別では、欧州は、プラス幅を縮小し、0.0%ポイントとなったが、欧州を除く地域は、プラスを維持。アジア地域は、中国及びその他アジアが引き続き2桁台となり、2桁台のプラスを維持。

- **実績** (H20年3月末)は、前年同期比 3.5%増と引き続き増加。

業種別では、引き続き輸送機械を中心に増加したが、輸送機械は、5期ぶりに1桁台に伸び率を縮小。電気機械は、5期連続減少。

地域別では、アジア地域を中心に、すべての地域で増加。**欧州** (前年同期比 13.7%増)は、2期連続2桁台の増加。窯業・土石が4期連続で著しく増加し、輸送機械が引き続き増加。**アジア地域** (同 3.0%増)は、中国及びその他アジアを中心に、引き続き増加。**中国** (同 3.7%増)は、7期連続1桁台の増加となり、輸送機械の伸び率の縮小などから、伸び率は徐々に縮小。**NIEs3** (同 1.0%増)は、電気機械が5期ぶりに増加したことなどから、6期ぶりに増加。**ASEAN4** (同 0.7%増)は、4期連続わずかな増加にとどまった。輸送機械及び一般機械は引き続き増加したが、電気機械は6期連続減少。**北米** (同 0.1%増)は、5期連続増加。化学及び輸送機械が引き続き増加。

3表 従業者数のDI及び実績 (地域・主要業種別)

(単位: DI及びDI前期比→%ポイント、実績(前年同期比)→%)

	DI					実績			DI					実績	
	今期調査			前期比		前期	今期		今期調査			前期比		前期	今期
	①現状判断 (20.1-3)	②現状判断 (20.4-6)	③先行き (20.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)				①現状判断 (20.1-3)	②現状判断 (20.4-6)	③先行き (20.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)		
計 (地域・業種)	9.8	→ 10.5	→ 10.5	(0.7)	0.0	4.5	3.5	輸送機械	14.3	→ 12.4	→ 14.2	(▲ 1.9)	1.8	10.4	▲ 6.9
北米	4.3	→ 1.5	→ 3.3	(▲ 2.8)	1.8	4.9	0.1	電気機械	4.6	→ 4.3	→ 9.5	(▲ 0.3)	5.2	▲ 0.3	▲ 0.5
アジア	12.2	→ 14.1	→ 13.6	(1.9)	▲ 0.5	3.1	3.0	一般機械	13.4	→ 9.6	→ 9.9	(▲ 3.8)	0.3	5.9	▲ 4.1
ASEAN4	8.1	→ 9.2	→ 9.2	(1.1)	0.0	0.3	0.7	化学	12.2	→ 13.1	→ 8.5	(0.9)	▲ 4.6	▲ 1.8	▲ 0.7
NIEs3	3.4	→ 4.3	→ 1.3	(0.9)	▲ 3.0	▲ 1.7	1.0	鉄鋼	12.5	→ 25.0	→ 19.4	(12.5)	▲ 5.6	▲ 16.9	▲ 9.9
中国 (香港含む)	16.2	→ 18.4	→ 18.5	(2.2)	0.1	4.4	3.7								
欧州	3.1	→ 1.4	→ 0.0	(▲ 1.7)	▲ 1.4	14.5	13.7								

<参考> 海外経済

世界の景気は、減速の動きに広がりが見られるものの、回復を続けている。アメリカでは、景気は弱含んでおり、後退局面入りの懸念がある。アジアでは、中国等で景気は拡大が続いている。中国では、景気は拡大が続いている。固定資産投資は高い伸びが続いている。台湾、シンガポール、マレーシアでは、景気は拡大している。韓国では、景気は緩やかに拡大しているものの、このところ減速感が見られる。タイでは、景気は緩やかに回復している。ユーロ圏では、景気回復は緩やかになっている。英国では、景気回復は緩やかになっている。(月例経済報告 (平成20年6月) より)